

(7) 免許資格取得科目の履修について

1) 初等・中等（英語）教育専攻 児童生徒教育コース及びこども発達コース

ア. 小学校教諭一種免許状

初等・中等（英語）教育専攻では、以下に示す規定の科目及び単位を履修修得することで、小学校教諭一種免許状を取得できます。

(ア) 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目及び本学の授業科目

免許法施行規則に定める科目区分	単位数	本学の開講授業科目	単位		教免必修
			必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法		2	○
体育	2	健康科学	2		○
		健康スポーツⅡ		1	○
外国語コミュニケーション	2	総合英語演習	2		○
情報機器の操作	2	情報科学概論	2		○

(イ) 免許法による専門教育科目及び本学の授業科目

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	本学の開講授業科目	単位				教免必修
				児童生徒教育コース		こども発達コース		
				必修	選択	必修	選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	30	こども文学	2		2		○
			海外こども文学		2		2	
			社会				2	○
			算数				2	○
			理科				2	○
			生活			2		○
			音楽			2		○
			図画工作			2		○
			工作による表現		2		2	
			家庭				2	○
	体育				2		○	
	外国語					2	○	
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		国語（書写を含む。）		2		2	○
			社会		2		2	○
			算数		2		2	○
			理科		2		2	○
			生活		2		2	○
			音楽		2		2	○
			図画工作		2		2	○
			家庭		2		2	○
体育			2		2	○		
外国語			2		2	○		

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	本学の開講授業科目	単位				教免必修
				児童生徒教育コース		こども発達コース		
				必修	選択	必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2		2		○
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職論	2		2		○
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育制度論	2		2		○
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育・学校心理学	2		2		○
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育総論	1		1		○
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		カリキュラム編成論	2		2		○
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育の理論と方法	2			2	○
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	1			1	○
	特別活動の指導法		特別活動の指導法	1			1	○
	教育の方法及び技術		教育の方法・技術	2		2		○
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	1			1	○
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導の理論と方法	1			1	○
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談(カウンセリングを含む)の理論と方法	2		2		○
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		進路指導の理論と方法	1			1	○
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習Ⅰ(小学校)		1		1	○
			教育実習Ⅱ(小学校)		4		4	○
	教職実践演習	2	教職実践演習(小中高)		2		2	○

(ウ) 免許法による大学が独自に設定する科目及び本学の授業科目

	単位数	本学の開講授業科目	単位		教免必修
			必修	選択	
大学が独自に設定する科目	2*	学校インターンシップⅠ		1	2
		学校インターンシップⅡ		1	
		教職フィールドワークⅠ		2	
		教職フィールドワークⅡ		2	
		現代社会とこどもの権利		2	

*「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」若しくは「教育実践に関する科目」について、併せて2単位以上修得しなければなりません。

(エ) 介護等体験

小学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、「介護等体験」(福祉施設5日間、特別支援学校2日間)を履修修得しなければなりません。「介護等体験」の履修条件は、『教職課程履修の手引き』を参照してください。

なお、複数免許を取得する場合は、重ねて履修する必要はありません。

(オ) 「教育実習Ⅱ（小学校）」の履修条件

「教育実習Ⅱ（小学校）」を履修するには、一定の条件を満たさなければなりません。履修条件については、『教職課程履修の手引き』を参照してください。

イ. 特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者）

初等・中等（英語）教育専攻では、小学校教諭一種免許状を取得するのに必要な科目及び単位を履修修得するのに加えて、以下に示す規定の科目及び単位を履修修得することで、特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者）を取得できます。

(ア) 免許法による特別支援教育に関する専門教育科目及び本学の授業科目

免許法施行規則に定める科目区分		単位数	本学の開講授業科目	単位		特支必修
				必修	選択	
特別支援教育の基礎理論に関する科目		2	特別支援教育概論		2	○
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	16	知的障害児の心理		2	○
			知的障害者の心理・生理・病理		2	○
			障害者・障害児心理学		2	○
			知的障害のあるこどものカウンセリング		2	○
	心理的アセスメントⅠ（発達・知能）			2	○	
	特別支援教育課程論（知的・重複障害）			2	○	
	知的障害者教育指導法			2	○	
	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		障害児の支援		2	○
以外の領域に認められる科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	5	重複障害・LD等のあるこどもの心理・生理・病理		2	○
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		重複障害・LD等教育		2	○
	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		視覚障害者教育総論		1	○
			聴覚障害者教育総論		1	○
			肢体不自由者教育総論		1	○
			病弱者教育総論		1	○
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	3	特別支援教育実習Ⅰ		1	○	
		特別支援教育実習Ⅱ		2	○	

2) 初等・中等（英語）教育専攻 児童生徒教育コース

ア. 中学校教諭一種免許状（英語）と高等学校教諭一種免許状（英語）

児童生徒教育コースでは、1) に示した小学校教諭一種免許状を取得するのに必要な科目及び単位を履修修得するのに加えて、以下に示す規定の科目及び単位を履修修得することで、中学校教諭一種免許状（英語）と高等学校教諭一種免許状（英語）を取得できます。

(ア) 免許法による専門教育科目及び本学の授業科目

科目区分		各科目に含めることが必要な事項	単位数	本学の開講授業科目	単位		中学必修	高校必修
					必修	選択		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学	中 28 高 24	英語学概論		2	○	○
				英語音声学	2		○	○
				英文法	2		○	○
				実践英文法	2		○	○
		英語文学		アメリカ文学Ⅰ		2	○	○
				イギリス文学Ⅰ		2	○	○
				アメリカ文学Ⅱ		2		
				イギリス文学Ⅱ		2		

科目区分		各科目に含めることが必要な事項	単位数	本学の開講授業科目	単位		中学必修	高校必修
					必修	選択		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語コミュニケーション	中 28 高 24	プレゼンテーションⅠ		2		
				プレゼンテーションⅡ		2		
				ディベートⅠ		2		
				ディベートⅡ		2		
				インターラクティブ イングリッシュⅡ	2		○	○
				インターラクティブ イングリッシュⅢ		2	○	○
				リーディング・ライティングⅢ		2		○
				アドヴァンストリーディング&ライティングⅠ		2		○
				アドヴァンストリーディング&ライティングⅡ		2		○
				異文化コミュニケーション論		2	○	○
	比較文化論		2					
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	英語科教育法Ⅰ		2	○	○		
		英語科教育法Ⅱ		2	○	○		
		英語科教育法Ⅲ		2	○	○		
		英語科教育法Ⅳ		2	○	○		
	教育の基礎的理解に関する項目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2		○	○
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職論		2		○	○	
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育制度論		2		○	○	
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育・学校心理学		2		○	○	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育総論		1		○	○	
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		カリキュラム編成論		2		○	○	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中 10 高 8	道徳教育の理論と方法	2		○		
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	1		○	○	
	特別活動の指導法		特別活動の指導法	1		○	○	
	教育の方法及び技術		教育の方法・技術	2		○	○	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	1		○	○	
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導の理論と方法	1		○	○	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談(カウンセリングを含む)の理論と方法	2		○	○	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		進路指導の理論と方法	1		○	○	

科目区分	各科目に含めることが 必要な事項	単位数	本学の開講授業科目	単位		中学 必修	高校 必修
				必修	選択		
教育実践に 関する科目	教育実習	中5 高3	教育実習Ⅰ(中高)		1	○	○
			教育実習Ⅱ(中学校)*		4	○	
			教育実習Ⅱ(高校)*		2		○
	教職実践演習	2	教職実践演習(小中高)		2	○	○

* 中学校教諭一種免許状と高等学校教諭一種免許状の取得を同時に希望する場合「教育実習Ⅱ(中学校)(4)」を修得すれば「教育実習Ⅱ(高校)(2)」を修得する必要はありません。

(イ) 免許法による大学が独自に設定する科目及び本学の授業科目

大学が独自に 設定する 科目	単位数	本学の開講授業科目	単位		中学 必修	高校 必修
			必修	選択		
	中 4	学校インターンシップⅠ		1		
		学校インターンシップⅡ		1		
		教職フィールドワークⅠ		2		
		教職フィールドワークⅡ		2		
	高 12	言語学		2		
		対照言語学		2		
		イギリス文化論		2		
		イギリス史		2		
		小中連携英語教育論	2			

(ウ) 介護等体験

中学校教諭一種免許状(英語)を取得しようとする者は、「介護等体験」(福祉施設5日間、特別支援学校2日間)を履修修得しなければなりません。「介護等体験」の履修条件は、『教職課程履修の手引き』を参照してください。

なお、複数免許を取得する場合は、重ねて履修する必要はありません。

(エ) 「教育実習Ⅱ(中学校)」及び「教育実習Ⅱ(高校)」の履修条件

「教育実習Ⅱ(中学校)」及び「教育実習Ⅱ(高校)」を履修するには、一定の条件を満たさなければなりません。履修条件については、『教職課程履修の手引き』を参照してください。

イ. 学校図書館司書教諭

本学では、1)アに示した小学校教諭一種免許状を取得するのに必要な科目及び単位を履修修得するのに加えて、以下に示す規定の科目及び単位を履修修得することで、学校図書館司書教諭の資格を取得できます。

(ア) 学校図書館司書教諭講習規程第3条に定める科目及び本学の授業科目

学校図書館司書教諭講習規定に定める科目	単位数	本学の開講授業科目	単位		資格 必修
			必修	選択	
学校経営と学校図書館	2	学校経営と学校図書館		2	○
学校図書館メディアの構成	2	学校図書館メディアの構成		2	○
学習指導と学校図書館	2	学習指導と学校図書館		2	○
読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性		2	○
情報メディアの活用	2	情報メディアの活用		2	○

3) 初等・中等（英語）教育専攻 こども発達コース

ア. 幼稚園教諭一種免許状

こども発達コースでは、以下に示す規定の科目及び単位を履修修得することで、幼稚園教諭一種免許状を取得できます。

(ア) 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目及び本学の授業科目

免許法施行規則に定める科目区分	単位数	本学の開講授業科目	単位		教免必修
			必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法		2	○
体育	2	健康科学	2		○
		健康スポーツⅡ		1	○
外国語コミュニケーション	2	総合英語演習	2		○
情報機器の操作	2	情報科学概論	2		○

(イ) 免許法による専門教育科目及び本学の授業科目

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	本学の開講授業科目	単位		教免必修
				必修	選択	
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	16	こども文学	2		○
			海外こども文学		2	
			算数概論		2	
			こども文化概論	2		○
			音楽Ⅲ	2		○
			絵による表現	2		○
			工作による表現		2	
	からだを動かすあそびⅠ		2		○	
	保育内容総論		2		○	
	保育内容（健康）の理論と方法		2		○	
	保育内容（人間関係）の理論と方法		2		○	
	保育内容（環境）の理論と方法		2		○	
	保育内容（表現）の理論と方法Ⅰ		2		○	
	保育内容（表現）の理論と方法Ⅱ		2		○	
保育内容（言葉）の理論と方法	2		○			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2		○
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	2		○
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度論	2		○
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育・学校心理学	2		○
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育総論	1		○
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		カリキュラム編成論	2		○

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	本学の開講授業科目	単位		教免必修
				必修	選択	
談の道徳、総合的な学習の時間等に関する科目及び生徒指導、教育的な指導、指導的学習科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	教育の方法・技術	2		○
	幼児理解の理論及び方法		幼児理解・援助の理論と方法	2		○
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談（カウンセリングを含む）の理論と方法	2		○
に教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習Ⅰ（幼稚園）		1	○
			教育実習Ⅱ（幼稚園）		4	○
	教職実践演習	2	教職実践演習（幼）	2		○

(ウ) 免許法による大学が独自に設定する科目及び本学の授業科目

	単位数	本学授業科目	単位		教免必修
			必修	選択	
大学が独自に設定する科目	14*	学校インターンシップⅠ		1	14
		学校インターンシップⅡ		1	
		教職フィールドワークⅠ		2	
		教職フィールドワークⅡ		2	
		現代社会とこどもの権利		2	

*「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」若しくは「教育実践に関する科目」について、併せて14単位以上修得しなければなりません。

イ. 保育士

こども発達コースでは、以下に示す規定の科目及び単位を履修修得することで、保育士資格を取得できます。〔児童福祉法施行規則第6条の2第1項第3号の指定保育士養成施設の修業教科目及び単位数並びに履修方法に基づく〕

(ア) 必修科目

児童福祉法施行規則に定める科目			当該養成施設における教科の開講状況等			
系列	施行規則による教科目	単位数	本学の開講授業科目	単位		資格必修
				必修	選択	
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	2	子育ての原理	2		○
	教育原理	2	教育原理	2		○
	子ども家庭福祉	2	子ども家庭福祉	2		○
	社会福祉	2	社会福祉概論		2	○
	子ども家庭支援論	2	子ども家庭支援論		2	○
	社会的養護Ⅰ	2	社会的養護Ⅰ		2	○
	保育者論	2	保育者論	2		○
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	2	発達心理学		2	○
	子ども家庭支援の心理学	2	子ども家庭支援の心理学		2	○
	子どもの理解と援助	1	幼児理解・援助の理論と方法	2		○
	子どもの保健	2	小児保健概論		2	○
			小児保健	2		○
子どもの食と栄養	2	こどもの食事作り実践		2	○	